

2015年7月16日  
mail ニュース

No.9・通巻330

# 自治労連 都庁職

自治労連都庁職員  
労働組合  
発行人 高柳 京子  
TEL 03-5381-0250

7月15日「沖縄平和ツアー報告・平和学習会」開催

## 「戦争法案反対！」「沖縄に新しい基地は作らせない！」

## この声を職場でもさらに広げよう

衆議院の特別委員会で「戦争法案」が強行採決された7月15日（火曜日）、「都庁にはたらく青年交流集会」と「自治労連都庁職」の共催で「沖縄平和ツアー報告&平和学習会」が新宿農協会館で開催され、32人が参加しました。

まず、都庁にはたらく青年交流会の野村事務局長（港湾支部）から、この会の趣旨と、これからも都庁の青年労働者と広くつながり、様々な取り組みをしていきたいとあいさつがありました。

つづいて、東京革新懇事務局長の今井文夫氏から「戦争法案阻止をめざして」と題し講演をいただきました。「立憲主義・民主主義・国民主権を否定する『戦争法案』の本質」「『戦争する国』になったら自衛隊員に犠牲者が必ずでるし、日本の危機も増大する」「辺野古新基地はアメリカと戦争する国づくりの態勢整備」「私たちが作る国民運動」等、についてお話いただきました。きわめて短時間でしたが時宜を得た学習会となりました。



開会あいさつする野村事務局長



さらに、沖縄平和ツアーの報告を「普天間・嘉手納基地」「辺野古テント村」「高江ヘリパッド」「ひめゆり祈念資料館」「チビチリガマ」の課題ごとに行い、現地で学んだことに加えて、さらに学習したことも併せて、各グループがパワーポイントで

の工夫をこらした報告となりました。現地ではじめて学んだことや、深まった平和への思いなどが参加者自身の言葉で伝えられ、送り出した支部からは称賛と、平和の取り組みへの新たな決意も表明されました。

最後に、高柳委員長から行動提起があり、戦争法制阻止と新たな基地を作らせないために各自・各組織ができることをやりきる決意を固めあいました。